

2018年2月5日

メールアドレスの誤送信に関するお詫び

旭硝子株式会社

この度、当社の投資家向けニュースメール配信サービス（以下「メール配信サービス」）によるご案内を電子メールにて送信した際、メール配信サービス登録者様のメールアドレスが表示された状態で送信してしまいました。

関係者の皆様にご迷惑、ご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

記

1. 経緯および登録者様への対応

2018年2月5日（月）午前11時ごろ、弊社がメール配信サービスを通じてニュースリリースのご案内を行った際、メールアドレスを「BCC」に入力すべきところ、誤って他の宛先が表示されてしまう「CC」に入力して送信したことで、日本語版メール426名、英語版メール180名のメールアドレスが、それぞれのメール内で他の受信者に見える状態となっておりました。同日午後4時頃、メール配信サービス登録者様へはお詫びとともに、当該電子メールの削除をお願いする内容のメールを送信しました。

2. 流出した個人情報

日本語版メール426名、英語版メール180名、計606名のメールアドレスです。メールアドレス以外の情報の流出はありません。

3. 再発防止策

個人情報を含む重要なメールや、社外の皆様へ電子メールを送信する際には、複数名による配信前チェックを実施いたします。

また、従業員への周知・教育と合わせて全社的な情報管理体制の強化に取り組んでまいります。

以上